

# 狐塚古墳(笛吹市)

正面の山裾に狐塚古墳が所在する



説明板等が立っている





やまなしの歴史文化公園

狐塚古墳

山梨県・春日居町

町指定史跡

# 狐塚古墳

春日居町鎮目字日陰一七八六番地  
平成十年六月八日指定

狐塚古墳は比較的残存状況の良い土盛墳の円墳で、直径十五m、高さ三m程の規模をもつ。南東方向に閉口する無袖型横穴式石室があり、高さ二・二m、幅一・九五m、長さ八・二mを測る。

明治時代に塚を発掘し、副葬品が出土した。須恵器、土師器、青銅鏡、鉄製鋤先、馬具等である。須恵器は提瓶、短頸壺、高坏等である。鉄製鋤先はやや小型で馬蹄形をしており、内側には板をはめ込むための溝がつくられている。馬具は鉸具立聞素環鏡板付轡、鞍金具、兵庫鎖、U字金具等である。これらの副葬品は所有者より春日居町郷土館に寄託され展示公開されている。

また副葬品の作成時期は須恵器が六世紀後半から七世紀後半、青銅鏡が六世紀末から七世紀後半、馬具は六世紀中頃以降と考えられる。

これらのことから狐塚古墳は六世紀後半頃に築造され、七世紀後半頃まで追葬が行われていたと考えられる。

平成十一年三月

春日居町教育委員会







この石垣の三段上に石室が開口している

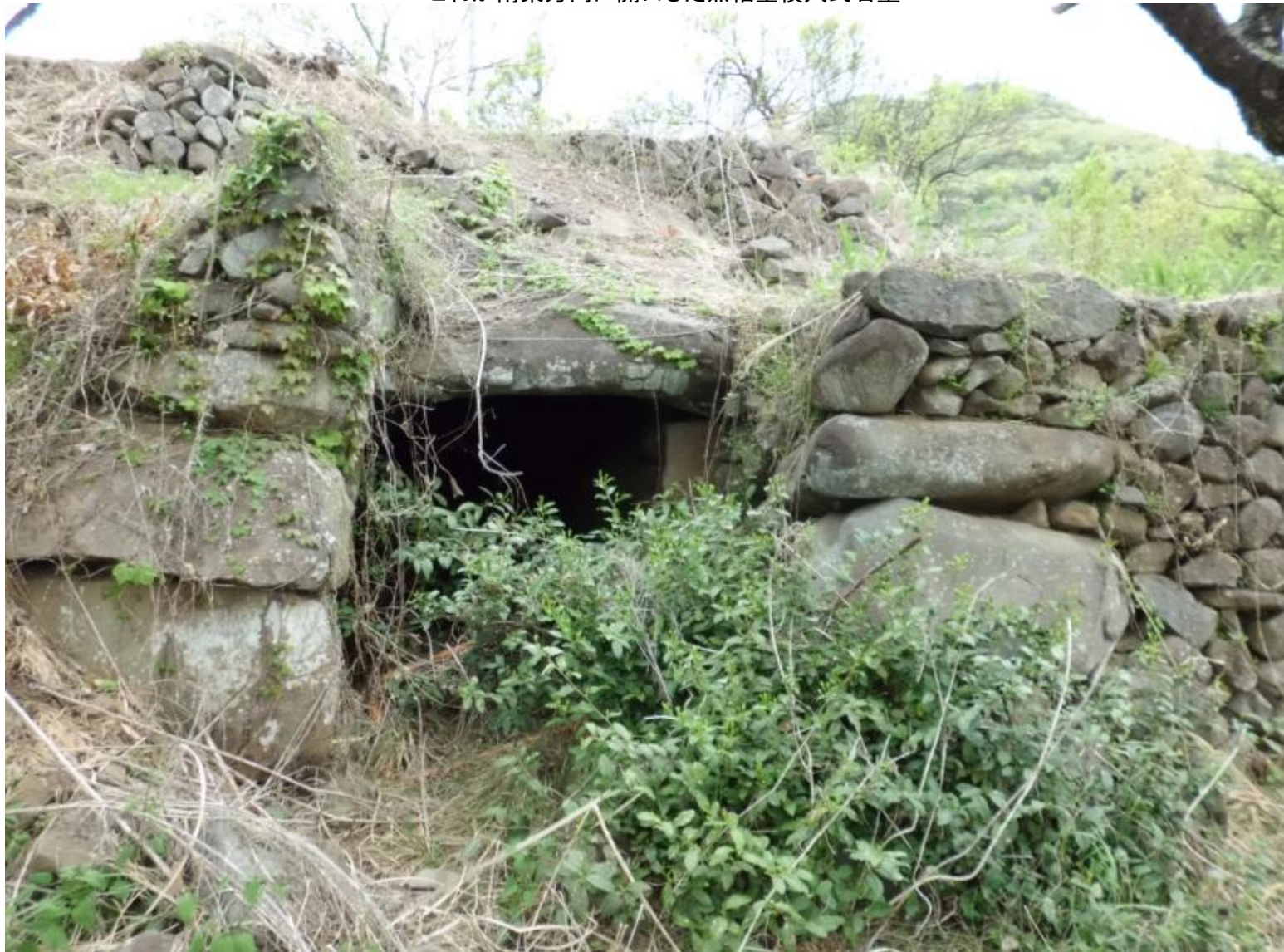








これが南東方向に開口した無袖型横穴式石室









石室の上から見たところ





参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huehuki\\_kitune/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huehuki_kitune/)

<http://obito1.web.fc2.com/fuefukikita.html>

